

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。  
<http://www.city.akita.akita.jp/>



市長 佐竹敬久

## 市長のほっこりコラム

# 男子厨房に入る(?)の考

趣味や特技を聞かれた時に、いささか自慢げに答えるのは、「料理、プ  
ラス買い物、後かたづけ付き！」と  
いうことにしております。

私が台所に立つようになったのは  
大学生時代で、実家から米・みそは  
送ってもらえたことから、自炊の方  
が安上がりで自由だということ、  
木造のぼろアパートに、同じ大学で  
山岳部出身の料理経験豊富な友人と  
一緒に住み始めたのがきっかけです。

したがって、最近のグルメブーム  
や男女共生・夫の家事分担というよ  
うなことからではなく、必要に迫ら  
れてということになります。結婚  
してからも続け、今でも忙しさの合  
間をみても近所のスーパーで買い物  
をし、ごく普通の食事を作り、忙し  
くなつた妻のご機嫌を取りつつ、妻  
が「神経たかれ」というほど、後か  
たづけもキツチリやっています。

ただ、市長に就いてからは顔が知  
られているので、買い物をしている  
と「市長さん、奥さんの体の具合で  
も悪いのですか」と聞かれることが  
あり、苦笑いという場面もあります。



アイコにシドケ、山菜がおいしい季節です

また、よく得意な料理はと聞かれ  
ますが、もともとのきっかけが満腹  
感を満たすためのものだったので、  
冷蔵庫の中の残り物を組み合わせた  
正体不明のものから、今では和食、  
中華、パスタ料理、あるいは一通り  
のおせち料理的なものまで、少しは  
こなせるようになってきました。

ところで、この欄は私の自慢話を  
するとところではありませんので、少  
し教訓めいた話をさせて頂きます。

最近「生活者優先の政治」という  
ことがクローズアップされますが、  
「知らずに解らずに語るなかれ」とい  
う癖が抜けない理工系出身の私の信  
条からすれば、台所に立つことが意  
外と具体的な市政の考え方の勉強に  
なるということです。

最近、食材の安全性や信頼性を損  
ねる事件が多くなっていますが、何  
がどのようにして売られているのか、  
見たことも聞いたこともない人、い  
わば生活者とは縁遠い「偉い人」た  
ちが物知り顔で話す言葉やパフォー  
マンスには何か実感が伴いません。  
この点に関しては、「現場経験」のあ  
るほうが、少しは市民的発想に立つ  
ことができるのではないかと思います。

また、売り場に山と積み重ねてい  
る生産形態が解らないような輸入食材  
を見るにつけ、安全で風土になじん  
だ食材の安定供給のための日本農業  
の大切さを実感することができます。

時は秋田が誇る山菜シーズンに入  
り、妻にいささか呆れられながらも、  
満足げに台所に立つ今年のゴールデ  
ンウィークです。